

札幌社保協 FAXニュース

2011年10月22日(土)
社保協事務局 発行
Tel 823-0867 Fax 821-3701
E-mail: s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番は、
10月27日(木)です

受益者負担の適正化？

札幌市行財政改革 推進プラン(案)

札幌市が10/3に発表した「行財政改革推進プラン案」は、市財政が厳しいことを理由に「受益者負担の適正化」で様々な「見直し」項目を掲げ、市民負担増を計画しています。

別の「新まちづくり計画案」では待機児童の解消、学童保育の対象拡大を言っている一方で、行財政改革プランでは、保育料の引き上げ、延長保育の有料化、児童クラブの有料化(2012年)や、市営住宅家賃の引き上げ(2013年)等を提示しています。期間を明示していませんが敬老パスの見直しも出ています。また、「事業仕分け」で出され市民の反発が強かった、手稲プール、駒岡保養所等のあり方の検討も再び出ています。

保育料は入所希望が増える一方市民の所得も減っていく中で、負担増を押さえるとして引き上げをしてこなかったものです。敬老パスも2007年の市長選挙公約で利用額を引き上げ、一定の改善をしたばかりです。案は市・区役所で配布され、市のホームページでも公開されています。大いに意見を言うことが必要でしょう。

札幌での共同のたたかいを進める連絡センター(札幌社保協事務局)主催学習会

11月1日(火)14:00~15:30予定 札幌市民ホール第2会議室 市の担当者が来て説明します。

働きながら安心して子育てができるように～学童保育市連協が陳情



市学童保育連絡協議会は、①5年生以上の登録、②障害児の人数に応じた助成金、③指導員の複数配置、④民間学童保育への支援拡充を求めて陳情署名を集めていますが、10/4に市議会で陳情の趣旨説明を行いました。

豊平区翼クラブの現役の父母が趣旨説明をし、同クラブが長年入所を望む障がいのある児童を全て受け入れてきた経緯、指導員や父母会の努力などの実例を話すと、議会文教委員も聞き入っていました。結果は「継続審議」でしたが、各議員からの質問では、おおむね「民間学童保育にさらなる支援を」「市の単独補助を増額すべき」という、学童保育を拡充すべきという発言が相次ぎました。市連協では引き続き充実署名をとりこんでいく予定です。

10月14~16日にかけて、同市連協では地下街オーロラスクウェアで学童保育パネル展を行い、市民へ学童保育のすばらしさと支援の拡充をアピールしました。



公的保育を解体しないで!

札幌保育連絡会・保育労組は10/15、大通公園で保育の請願署名を行い、その後すすきのまで子育てウォーキングを行いました。保育園児と父母、保育士など120人が参加しました。

「公的保育の解体をするな」「保育予算をふやして」「待機児童の解消を」「保育士の待遇改善」等プラカードや横断幕で市民にアピールしながら歩きました。



今こそ 社会保障の拡充を! 学習決起集会

11月11日(金)18:30~ 道社保協主催
札幌エルプラザホール 参加費:500円
講演: 社会保障をめぐる情勢とたたかいの展望
井上 久 中央社保協代表委員・全労連事務局次長

生存権裁判を支援する北海道の会第5回総会

日時: 11月13日(日)13:30~15:00
会場: 札幌市教育文化会館 研修室302
*生活保護の現状を告発し、生活保護の改悪について考える